

令和 8 年度

第 2 回

芳川小学校運営協議会



令和 8 年 7 月 1 日 午後 1 時 15 分より

浜松市立芳川小学校

<次第>

- 1 校内研修の説明、委員による授業参観
- 2 開催要件(過半数の出席)確認
- 3 会長挨拶
- 4 校長挨拶
- 5 議長の選出
- 6 前回会議録確認
- 7 熟議
 - (1) 子供たちの主体性を高めるために
 - (2) 学校における働き方改革の一層の推進について
- 8 報告
 - (1) ほうがわクスノキ応援団の活動報告
 - (2) 学校評価アンケートについて
 - (3) 第1回CS研修会(6/24実施)について
- 9 連絡
 - 次回開催日時 令和8年10月19日(月)13:00
 - 次回議長選出

第2回 学校運営協議会 名簿

学校運営協議会委員

会長	海老名 俊樹 えびな としき
副会長	林 容子 はやし ようこ
委員	鈴木 幸彦 すずき ゆきひこ
委員	犬居 和賀代 いぬい わかよ
委員 (学校支援コーディネーター)	鈴木 麻里 すずき まり
委員 (学校支援コーディネーター)	前島 杏里 まえしま あんり
委員	井本 陽介 いもと ようすけ

オブザーバー

南陽協働センター	井川 昌代 いかわ まさよ
南陽協働センター	袴田 唯之 はかまた ただゆき

学校

校長	結城 知則 ゆうき とものり
教頭	影山 重広 かげやま しげひろ
CS担当教職員	鈴木 由香 すずき ゆか
CSディレクター	内田 由佳 うちだ ゆか

浜松市教育委員会

学校・地域連携課	山本 俊行 やまもと としゆき
----------	-----------------

学校運営協議会 年間計画

令和8年4月1日～令和9年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和8年 5月14日 木曜日 13:30～15:00 CSルーム	熟議テーマ (1)授業参観 (2)学校運営の基本方針について (3)いじめ防止等の基本方針 ～本校の生徒指導の実情とこれからの取り組み～ (4)夢育やらまいか事業に関する意見書について	
2	7月1日 水曜日 13:15～15:00 CSルーム	熟議テーマ ☐ 子供たちの主体性を高めるために ☐ 学校における働き方改革の一層の推進について	
3	10月19日 月曜日 13:00～15:00 CSルーム	熟議テーマ ☐ 児童運営委員会のとの意見交換 ☐ 温かく人とかかわる力を育むために ☐ 全国学力・学習状況調査の結果より ☐ その他	
4	令和9年 2月15日 月曜日 13:30～15:00 CSルーム	熟議テーマ (1)学校関係者評価 学校の自己評価説明⇒改善策について熟議⇒次年度へ (2)次年度学校運営の基本方針について説明 (3)学校運営協議会の自己評価 ☐ 夢育やらまいかCS加算分の報告	○学校運営協議会の自己評価表 委員の意見収集⇒学校への提出 締め切り日

研修テーマ

学びを楽しむ子の育成

主体的・対話的で深い学び

学ぶことに興味や関心を持ち、学習の内容や仕方を選択しながら、自分の課題に粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」の実現

子供同士、教職員や地域の人との対話や協働等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」の実現

習得・活用・探究という学びの課程の中で、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考えたり、思いや考えを基に想像したりすることに向かう「**深い学び**」の実現

(1) 単元構想・場面設定の工夫

- ・系統性と教科横断的な視点での単元構想
- ・子供に活動のプロセスやゴールをイメージさせる見通し
- ・実生活に即したリアリティのある場面設定

★(2) 主体性を高める工夫

- ・子供が選択できる場の設定
- ・内容の深まりや対話を生む話型や聴き方・話し方の指導
- ・授業とつながりをもった家庭学習の指導

(3) 振り返る活動の設定

- ・学習課題、解決に用いた方法等の確認
- ・現在の学習内容や過去の学習内容の関係付けや一般化
- ・学習内容を自らとつなげ、自己の変容を自覚

キャリア教育:基礎的汎用的能力の育成

○人とつながろう ○自分を高めよう ○課題を解決しよう ○自分を見つめよう

学習の基礎基本の定着

○学びの基礎基本の徹底（学習環境を整える、「聴く」指導、「話す」指導） ○家庭学習の充実

児童の実態

- 相手を意識した聴き方、話し方を意識できるようになってきた。
- 学習をふり返って、達成感を得たり、次の学習への意欲を持ったりすることができた。
- 学びに対する粘り強さに欠ける。
- 意見を言うだけにとどまり、意見をつなげたり考えを深めたりするまでに至っていない。
- 与えられた課題に取り組むことはできるが、自分で学びを計画・実行する力が弱い。

昨年度の校内研修の成果と課題

- 学年による単元を見通した授業研修を行い、児童も教師も、単元を通して付けたい力を意識した授業をすることができた。
- 対話的な学びを学習に位置付けることで、「聴き方・話し方」を意識させる指導ができた。
- いつも決まった児童が自分の思いや考えを伝えていて、話合いの深まりが見られない。
- 授業と家庭学習があまり連動していない。家庭学習したことが学校で評価しきれていない。